第37回運営評議会議事概要

１．日　　　　　時　令和４年３月２４日（木）15:00～16:20

２．場　　　　　所　農業者年金基金特別会議室（Web 方式）

３．出　　席　　者
　委　　　　　員　上平委員、杉山委員、綱島委員、加藤委員、谷上委員、
　　　　　　　　　岡部委員、鈴木委員、谷口委員、肱岡委員、柳田委員、
　　　　　　　　　町田委員、吉田委員
　農業者年金基金　西理事長、石垣理事、西野理事、國井監事、小林監事、
　　　　　　　　　久保田企画調整室長、大武業務部長、原田資金部長、
　　　　　　　　　渡邉総務部長、結城総務課長
　オブザーバー　玉置農林水産省経営局経営政策課長

４．議　　　　　題
　１　農業者年金事業の実施状況について
　２　年金資産の運用状況等について
　３　令和４年度計画について
　４　内部統制の推進状況等について

５．議　事　概　要
○　まず、会長（町田委員）及び会長代理（吉田委員）の選出を行った。
○　次に、資料１－１から１－３及び資料２から４について、(独) 農業者年金基金から説明を行った。
○　その後、意見交換が行われ農業者年金事業の実施状況等について各委員から発言があった。

＜主な意見等＞
〔農業者年金事業の実施状況関係〕
【意見等】
・　資料１－３に記載のある、届出書の遅れによる加入者への多大な負担とは、実態としてどのような負担を掛けたのか教えて欲しい。

【回答】
・　保険料の振替事務が遅れることで、加入者本人としては加入届を出した時点で加入したつもりでも、保険料が引き落とされないまま数ヶ月経過してしまい、高額の保険料を一括振替することとなる事例や、死亡届を出していただいたにも関わらず、死亡処理が出来ないために死亡一時金が支払えない事例もあったが、受託機関から丁寧にお詫びし、何とかご容赦をいただいている。

【意見等】

・ 資料にも加入者にどのような負担を掛けたのかを明記し、関係者に注意喚起することが大事だと思うので、よろしくお願いしたい。

【回答】

・ 担当者会議では事例を詳しく紹介したり、負担の例も明らかにし、周知したいと思う。

【意見等】

・ 資料１－２　Ｐ１４～１６、どのようなことをすれば、これだけの達成ができたのか、今後なかなか進んでいない県なども参考になると思うので、具体例を教えて欲しい。

【回答】

個別の県に確認したわけではないが、おそらく上位で達成されている県は、普段から実績を挙げており、加入推進部長も積極的に活動いただいてきた所ではないかと思う。ほとんどの県で、新型コロナウイルスにより戸別訪問が制約された中、日頃の加入推進の体制、活動状況が達成状況に大きく関与しているのではないかと思う。

【意見等】

次回以降、具体例を教えていただくことで、よりよい普及活動になると思うので、よろしくお願いしたい。

【回答】

・ 承知した。

ひとつだけ紹介させてもらうが、大分県ではＪＡ中央会が音頭を取り、ＪＡ職員に新規加入獲得や大勢を研修会に参加させた場合など実績に応じて奨励金を支払う制度を導入している。

【意見等】

・ 奨励金について、農業委員会の方でもやっていると思うので、その線引き等も今後教えてもらいたい。

【補足】

・ Ｐ１６の表を見ていただいた時、女性の新規加入者のトップが大分だが、昨年４月からインセンティブというか、新規加入に当たる委託金を引き上げた。ＪＡの場合は、個人に対してインセンティブを還元することが可能であり、沖縄では前からやっているが、最近大分でも始めた。

農業委員会も同じ仕組みでやっているが、条例等の関係で個人に対してインセンティブを還元することができないところが多い。我々の思いとしては、インセンティブを上げていっているので、ぜひ使って欲しいが、全国

網羅的にインセンティブが機能しているかというと、そこまでには至っていない。来年度は担当者会議等で、他県での成功例を出してゆきたいと思っている。

〔年金資産の運用状況等について〕

【意見等】

・ 資料２　Ｐ６国内債券を外国債券に持っていくことで、リスクが低下するとのことだが、そうすると期待収益率が落ちると思うが、資料では変わらないとなっている理由は。

【回答】

・ 今回の外国債券はヘッジ付きなので、基本的に国内債券とあまり変わらないが、例えば株が上がったら債券が下がる、債券が上がったら株が下がるなど相関関係がそれぞれあるわけだが、それが資産の組み合わせにより若干違っているため、リスクが若干減るが期待収益は変わらないという結果になっている。

【意見等】

・ 資料２　Ｐ１の意見のとおり、政策アセットミックスを変更する際に、基金として加入者にどのようなわかりやすいお知らせをしているか。

【回答】

・ 基金から加入者向けのお知らせ方法はいろいろあるが、例えば基金のホームページに掲載する、毎年６月に運用結果をお送りする付利通知に同封する資料に記載するなど、このような機会を捉えて、わかりやすい説明を心掛けたいと考えている。

【意見等】

・ 加入者にとってわかりやすい資料を作成するなど、よろしくお願いしたい。